

Ver 1.3

オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく 温室効果ガス吸収プロジェクト計画書

プロジェクト名	宮崎県門川県有林 森林吸収源活用モデル事業
プロジェクト 代表事業者名	宮崎県知事 河野 俊嗣

提出日2010年12月 7日

受理日2010年12月 7日

最終版提出日2011年2月2日

A: 参加者情報			
プロジェクト代表事業者 1			
事業者名(フリガナ)	宮崎県(ミヤザキケン)		
住所	宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号		
代表者氏名	河野 俊嗣	担当者氏名	海蔵 禎
担当者所属	環境森林部森林整備課	担当者役職	技師
担当者 E-mail	kaizoh-tadashi@pref.miyazaki.lg.jp	担当者電話番号	0985-26-7160
プロジェクトでの役割	プロジェクト実施者、森林所有者		
プロジェクト事業者 2			
事業者名(フリガナ)	同上		
住所			
代表者氏名			
担当者所属			
担当者 E-mail			
プロジェクトでの役割			
プロジェクト参加者 3,4			
事業者名(フリガナ)			
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
プロジェクトでの役割			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 5			
事業者名(フリガナ)	宮崎県(ミヤザキケン)		
オフセット・クレジット (J-VER)口座番号	口座未開設		
6			

<p>ダブルカウントの防止措置を講ずる事業者</p>	<p>宮城県</p> <p>【類似制度に基づく二重認証に関するダブルカウントの防止措置】 類似制度へ申請しておらず、当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する温室効果ガス削減・吸収という環境に関わる付加価値(以下、「環境価値」という。)の認証を取得しません。</p> <p>【善意の第三者に環境価値を移転する際のダブルカウントの防止措置】 当該プロジェクトの対象となった森林を第三者に譲渡する際に、その譲渡先に対して、環境価値はクレジット化されており、当該森林には付随していないこと、及び、当該森林の所有権の帰属先と、環境価値の帰属先が異なることを明示する説明文書を作成して譲渡先に示します。あわせて、当該森林の譲渡の際には、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款森林管理プロジェクト特約の内容にも十分に留意します。</p>
<p>公的な報告・公表制度</p>	<p>地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画(区域政策)の策定義務対象者(都道府県)である。</p>
<p>自主的な報告・公表対象</p>	<p>・想定される報告及び公表媒体 宮城県ホームページ、リーフレット、事業紹介小冊子</p> <p>・当該自主的な報告・公表媒体において、当該プロジェクトの内容及び当該プロジェクトから創出されるオフセット・クレジット(J-VER)の発行量及び売却量を明記する。</p> <p>・クレジット発行後には、当該クレジットに付属するCO₂に係る環境価値の保有を前提とした主張は行わない。</p>

- 1: プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。プロジェクト代表事業者以外の主なプロジェクト事業者・プロジェクト参加者についてもパンフレット等を添付すること。
- 2: プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス吸収活動を実施する者を指す。プロジェクト代表事業者と同一の場合は、その旨を記載すること。
- 3: プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。
- 4: プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。
- 5: オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト代表事業者、プロジェクト事業者、プロジェクト参加者のうちのいずれかであること。
- 6: オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。
- 7: オフセット・クレジット(J-VER)の発行がなされる場合、ダブルカウントを避けるための所要の措置をとる義務が生じる。詳細は、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款を参照すること。

B: プロジェクト活動の概要

	項目																																																																																																																																																																																												
B.1 プロジェクト活動	B.1.1 プロジェクトの目的及び内容 (目的) 本県の森林は県土 76% を占めており、木材の生産、水源のかん養、CO ₂ の吸収・固定など多面的な機能を発揮しているものの、木材価格の低迷による林業採算性の悪化や林業従事者の減少・高齢化なども相まって、伐採後に植栽されない植栽未済地や間伐など手入れが不十分な森林が増加するなど、森林・林業を取り巻く環境は厳しい状況にある。 このため、森林の二酸化炭素吸収機能に経済的・社会的価値を与える J-VER 制度を活用して、山元に利益を還元するモデル的な取り組みを県有林で実施することにより、県内での J-VER 制度を推進し、間伐の促進を図ると共に山元の経済性向上を目指す。																																																																																																																																																																																												
	(内容) 門川県有林の面積は 386.94ha であるが、今回この門川県有林の 77.72ha でスギの定性間伐を行い、CO ₂ 吸収機能の維持・増進を図る。																																																																																																																																																																																												
	B.1.2 プロジェクト実施前の状況 1) 樹種別・令級別・面積・蓄積																																																																																																																																																																																												
	門川県有林樹種別面積・蓄積																																																																																																																																																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>スギ</th> <th>ヒノキ</th> <th>マツ</th> <th>その他針葉樹</th> <th>その他広葉樹</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面積 (ha)</td> <td>273.76</td> <td>66.64</td> <td>7.45</td> <td>0.53</td> <td>38.56</td> <td>386.94</td> </tr> <tr> <td>蓄積 (m³)</td> <td>113,694</td> <td>19,992</td> <td>1,925</td> <td>103</td> <td>6,049</td> <td>141,763</td> </tr> </tbody> </table>	樹種	スギ	ヒノキ	マツ	その他針葉樹	その他広葉樹	合計	面積 (ha)	273.76	66.64	7.45	0.53	38.56	386.94	蓄積 (m ³)	113,694	19,992	1,925	103	6,049	141,763																																																																																																																																																																							
	樹種	スギ	ヒノキ	マツ	その他針葉樹	その他広葉樹	合計																																																																																																																																																																																						
	面積 (ha)	273.76	66.64	7.45	0.53	38.56	386.94																																																																																																																																																																																						
	蓄積 (m ³)	113,694	19,992	1,925	103	6,049	141,763																																																																																																																																																																																						
	門川県有林令級別面積・蓄積																																																																																																																																																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>樹種 令級</th> <th>スギ</th> <th>ヒノキ</th> <th>マツ</th> <th>その他針葉樹</th> <th>その他広葉樹</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>面積</td> <td></td> <td>0.60</td> <td></td> <td></td> <td>0.60</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td>面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.68</td> <td>2.68</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>82</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4</td> <td>面積</td> <td>1.90</td> <td>0.50</td> <td></td> <td></td> <td>2.40</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td>383</td> <td>82</td> <td></td> <td></td> <td>465</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5</td> <td>面積</td> <td>1.51</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.51</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td>335</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>335</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">6</td> <td>面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">7</td> <td>面積</td> <td>3.72</td> <td>19.53</td> <td></td> <td>0.53</td> <td>25.28</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td>1,287</td> <td>5,282</td> <td></td> <td>103</td> <td>6,856</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">8</td> <td>面積</td> <td>16.02</td> <td>10.78</td> <td></td> <td></td> <td>26.80</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td>6,020</td> <td>3,238</td> <td></td> <td></td> <td>9,258</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">9</td> <td>面積</td> <td>117.05</td> <td>23.14</td> <td></td> <td></td> <td>150.44</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td>47,032</td> <td>7,219</td> <td></td> <td>1,565</td> <td>55,816</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10</td> <td>面積</td> <td>118.60</td> <td>12.09</td> <td>7.45</td> <td></td> <td>147.17</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td>51,459</td> <td>4,171</td> <td>1,925</td> <td>1,391</td> <td>58,946</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">11</td> <td>面積</td> <td>2.45</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.45</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td>1,133</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,133</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">12</td> <td>面積</td> <td>12.51</td> <td></td> <td></td> <td>4.70</td> <td>17.21</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td>6,045</td> <td></td> <td></td> <td>867</td> <td>6,912</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">13</td> <td>面積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10.40</td> <td>10.40</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,960</td> <td>1,960</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>面積</td> <td>273.76</td> <td>66.64</td> <td>7.45</td> <td>0.53</td> <td>386.94</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td>113,694</td> <td>19,992</td> <td>1,925</td> <td>103</td> <td>141,763</td> </tr> </tbody> </table>	樹種 令級	スギ	ヒノキ	マツ	その他針葉樹	その他広葉樹	合計	1	面積		0.60			0.60	蓄積					0	2	面積					0.00	蓄積					0	3	面積				2.68	2.68	蓄積				82	82	4	面積	1.90	0.50			2.40	蓄積	383	82			465	5	面積	1.51				1.51	蓄積	335				335	6	面積					0.00	蓄積					0	7	面積	3.72	19.53		0.53	25.28	蓄積	1,287	5,282		103	6,856	8	面積	16.02	10.78			26.80	蓄積	6,020	3,238			9,258	9	面積	117.05	23.14			150.44	蓄積	47,032	7,219		1,565	55,816	10	面積	118.60	12.09	7.45		147.17	蓄積	51,459	4,171	1,925	1,391	58,946	11	面積	2.45				2.45	蓄積	1,133				1,133	12	面積	12.51			4.70	17.21	蓄積	6,045			867	6,912	13	面積				10.40	10.40	蓄積				1,960	1,960	合計	面積	273.76	66.64	7.45	0.53	386.94	蓄積	113,694	19,992	1,925	103
樹種 令級	スギ	ヒノキ	マツ	その他針葉樹	その他広葉樹	合計																																																																																																																																																																																							
1	面積		0.60			0.60																																																																																																																																																																																							
	蓄積					0																																																																																																																																																																																							
2	面積					0.00																																																																																																																																																																																							
	蓄積					0																																																																																																																																																																																							
3	面積				2.68	2.68																																																																																																																																																																																							
	蓄積				82	82																																																																																																																																																																																							
4	面積	1.90	0.50			2.40																																																																																																																																																																																							
	蓄積	383	82			465																																																																																																																																																																																							
5	面積	1.51				1.51																																																																																																																																																																																							
	蓄積	335				335																																																																																																																																																																																							
6	面積					0.00																																																																																																																																																																																							
	蓄積					0																																																																																																																																																																																							
7	面積	3.72	19.53		0.53	25.28																																																																																																																																																																																							
	蓄積	1,287	5,282		103	6,856																																																																																																																																																																																							
8	面積	16.02	10.78			26.80																																																																																																																																																																																							
	蓄積	6,020	3,238			9,258																																																																																																																																																																																							
9	面積	117.05	23.14			150.44																																																																																																																																																																																							
	蓄積	47,032	7,219		1,565	55,816																																																																																																																																																																																							
10	面積	118.60	12.09	7.45		147.17																																																																																																																																																																																							
	蓄積	51,459	4,171	1,925	1,391	58,946																																																																																																																																																																																							
11	面積	2.45				2.45																																																																																																																																																																																							
	蓄積	1,133				1,133																																																																																																																																																																																							
12	面積	12.51			4.70	17.21																																																																																																																																																																																							
	蓄積	6,045			867	6,912																																																																																																																																																																																							
13	面積				10.40	10.40																																																																																																																																																																																							
	蓄積				1,960	1,960																																																																																																																																																																																							
合計	面積	273.76	66.64	7.45	0.53	386.94																																																																																																																																																																																							
	蓄積	113,694	19,992	1,925	103	141,763																																																																																																																																																																																							

	<p>プロジェクト対象地樹種別面積・蓄積</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>スギ</th> </tr> <tr> <td>面積 (ha)</td> <td>77.72</td> </tr> <tr> <td>蓄積 (m³)</td> <td>33,130</td> </tr> </table> <p>プロジェクト対象地齢級別面積・蓄積</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th colspan="2">スギ</th> </tr> <tr> <th>齢級</th> <th>面積</th> <th>蓄積</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">9</td> <td>面積</td> <td>11.63</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td>4,793</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10</td> <td>面積</td> <td>66.09</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td>28,337</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>面積</td> <td>77.72</td> </tr> <tr> <td>蓄積</td> <td>33,130</td> </tr> </table> <p>B.1.3 排出削減・吸収の達成手段</p> <p>【間伐間隔】</p> <p>宮崎県の県有林では時代のニーズや森林の持つ多面的な機能を踏まえて、標準伐期齢を 2 倍程度に延ばす長伐期施業に転換しており、森林施業計画の「森林施業の実施に関する長期の方針」に基づき、主伐を 70 年に設定し、40 林齢以降は 10 年に 1 回の間隔で間伐を行う。</p> <p>【定量間伐か、定性間伐か】</p> <p>主伐を 70 年に設定しており、主伐するまでに行う間伐では質の良い木を残していく方針から、定性間伐とする。</p> <p>【間伐率】</p> <p>間伐率 20%</p>	樹種	スギ	面積 (ha)	77.72	蓄積 (m ³)	33,130	樹種	スギ		齢級	面積	蓄積	9	面積	11.63	蓄積	4,793	10	面積	66.09	蓄積	28,337	合計	面積	77.72	蓄積	33,130			
樹種	スギ																														
面積 (ha)	77.72																														
蓄積 (m ³)	33,130																														
樹種	スギ																														
齢級	面積	蓄積																													
9	面積	11.63																													
	蓄積	4,793																													
10	面積	66.09																													
	蓄積	28,337																													
合計	面積	77.72																													
	蓄積	33,130																													
B.2 採用 技術	<p>プロジェクトで使用する設備・機器等 (プロジェクトで使用する機器名称、機器メーカー名、型番、機器容量、法定耐用年数、導入年月、用途等について記載すること。(モニタリングに用いた機器は、最新のものに限らず全て記載すること))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>メーカー名</th> <th>耐用年数</th> <th>導入時期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TRACON LS-25</td> <td>牛方商会</td> <td>5 年</td> <td>平成 4 年 3 月 12 日</td> <td>ポケットコンパス 面積測量機</td> </tr> <tr> <td>Laser Ace Hypsometer</td> <td>MDL 社</td> <td>5 年</td> <td>平成 19 年 10 月 29 日</td> <td>レーザー測高計 (樹高測定)</td> </tr> <tr> <td>輪尺</td> <td>ACE</td> <td>5 年</td> <td>不明</td> <td>胸高直径測定器</td> </tr> <tr> <td>直径メジャー</td> <td>ハイビスカス</td> <td>5 年</td> <td>平成 21 年 1 月 31 日</td> <td>胸高直径測定器</td> </tr> <tr> <td>GPSMAP76CSX</td> <td>GARMIN 社</td> <td>5 年</td> <td>平成 21 年 2 月 23 日</td> <td>測位</td> </tr> </tbody> </table> <p>耐用年数を過ぎているもの及び導入時期が不明なものについては、新たに購入する予定。</p> <p>間伐委託先により変更する可能性があります。</p>	機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考	TRACON LS-25	牛方商会	5 年	平成 4 年 3 月 12 日	ポケットコンパス 面積測量機	Laser Ace Hypsometer	MDL 社	5 年	平成 19 年 10 月 29 日	レーザー測高計 (樹高測定)	輪尺	ACE	5 年	不明	胸高直径測定器	直径メジャー	ハイビスカス	5 年	平成 21 年 1 月 31 日	胸高直径測定器	GPSMAP76CSX	GARMIN 社	5 年	平成 21 年 2 月 23 日	測位
機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考																											
TRACON LS-25	牛方商会	5 年	平成 4 年 3 月 12 日	ポケットコンパス 面積測量機																											
Laser Ace Hypsometer	MDL 社	5 年	平成 19 年 10 月 29 日	レーザー測高計 (樹高測定)																											
輪尺	ACE	5 年	不明	胸高直径測定器																											
直径メジャー	ハイビスカス	5 年	平成 21 年 1 月 31 日	胸高直径測定器																											
GPSMAP76CSX	GARMIN 社	5 年	平成 21 年 2 月 23 日	測位																											

B.3 プロジェクト 実施場所	実施事業 所名	宮崎県
	住所	宮崎県東臼杵郡門川町峠谷 5737-2
	概要	<p>(プロジェクト対象地の位置図、プロジェクト対象地全体の地図等を用いて、プロジェクト実施場所について分かりやすく説明する。その他、別紙「プロジェクト申請方法について」に記載する資料を適宜添付する。)</p> <p>・宮崎県 門川町 位置図</p> <div style="text-align: center;"> <p>宮崎県略図</p> </div>

門川町 門川県有林 位置図

基準点(管理小屋): N 32° 30' 76"
E 131° 35' 90"

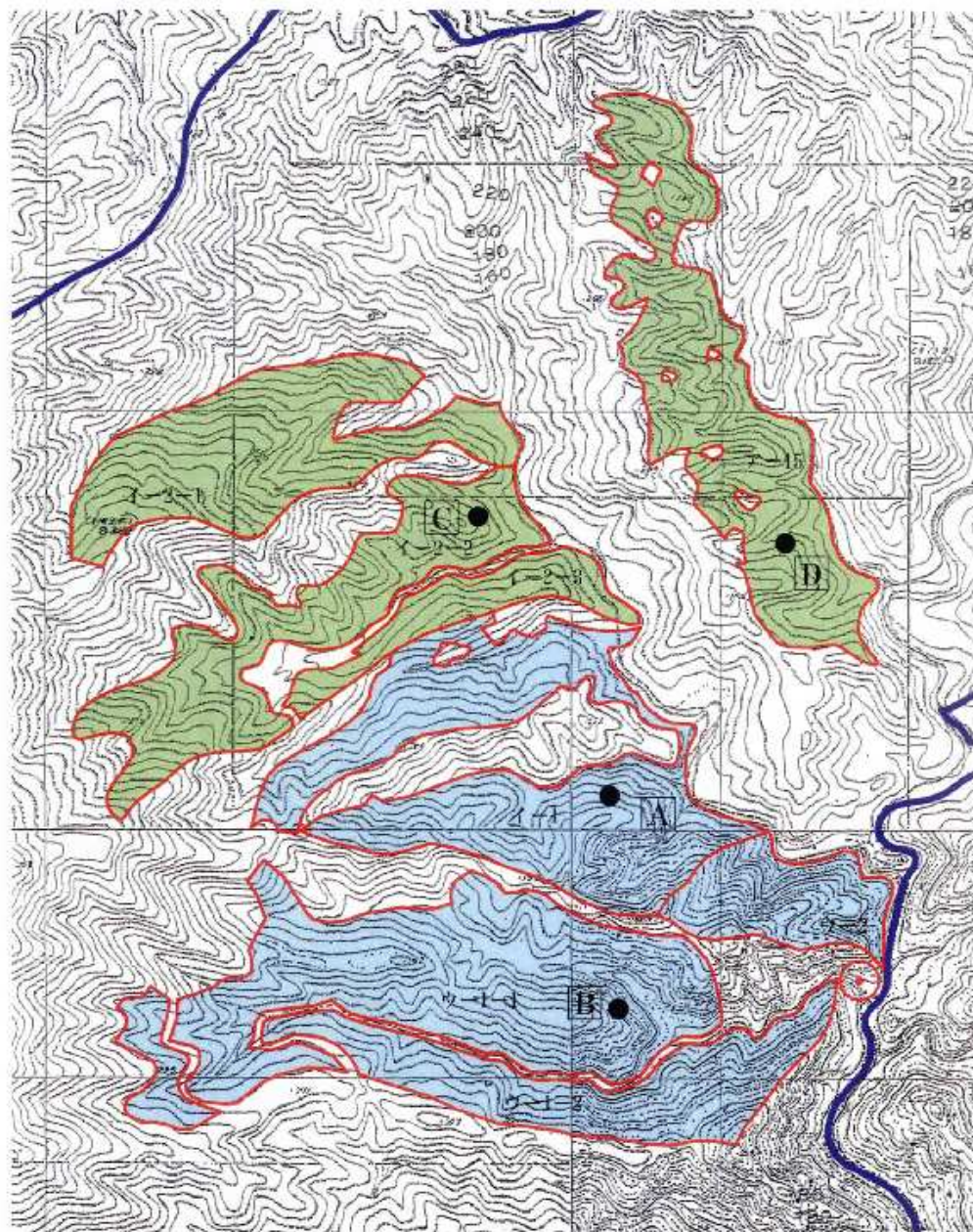
概要



概要

門川県有林 事業対象区域図

水色の区域:平成 22 年度間伐
緑色の区域:平成 23 年度間伐



B: プロジェクト活動の概要							
B.4 プロジェクト期間		2010年 4月 1日 ~ 2013年 3月 31日 (3年 ヶ月)					
B.5 クレジット期間 1		2010年 4月 1日 ~ 2013年 3月 31日					
B.6 想定排出削減 ・吸収量 2	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2			316	577	577	1,470
B.7 モニタリング報 告の頻度	年1回を予定						
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに)	<input checked="" type="checkbox"/> 受給している / <input type="checkbox"/> 申請中 / <input type="checkbox"/> 検討中 / <input type="checkbox"/> 受給しない					
	補助事業名称	森林整備加速化・林業再生事業					
	補助金額 (申請額含む)	7,058,856円					
	補助対象年月日	22年4月1日 ~ 23年3月31日					
	補助金を受給している ことを証明する書類	(施業履歴及び林齢樹種ごとの実測面積の証跡として使用する補助金受給事業については、資料を必ず添付すること) 資料1 - S 参照					
B.9 他制度への申 請 3	申請の有無 (いずれかに)	有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無					
	制度名 (有の場合のみ)						

備考	<p>プロジェクトの吸収量やプロジェクトの実施に影響を与える現在もしくは将来的なリスク要因を特定する 森林火災、気象災害、森林病虫害 各リスク要因に対する影響の軽減措置を記述する (リスクの例については、「記入要領」を必ず参照のこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林火災 : 看板の設置や県有林内へ入る人への指導等、森林火災のリスク軽減に努める。 ・気象災害 : 風倒木が発生した場合には、風倒木の処理を適切に行う。 ・森林病虫害 : 被害の早期発見、迅速な対応を行うため、監視人による定期的な巡視を行っている。 <p>森林火災、気象災害、森林病虫害が確認された場合、速やかに監視人より宮崎県の出先機関である東臼杵農林振興局林務課を通して、森林整備課へ報告する。 報告を受けた森林整備課は、特別会計から費用を出し、東臼杵農林振興局林務課とともに、森林火災、気象災害、森林病虫害に対応する。</p>
----	--

- 1: クレジット期間は、2008年4月1日～2013年3月31日の間で設定すること。
- 2: 想定排出削減・吸収量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。
- 3: 海外の VER 制度や都道府県等のCO₂吸収量認証等、類似制度への申請の有無を記入。これは、一つのプロジェクトによる排出削減・吸収量に基づくクレジットが複数創出される等の、ダブルカウントを避けるためである。

C:方法論の適用		
C.1 ポジティブリストの 適格性基準 との整合性	C.1.1 ポジティブリストの番号	No. R. <u>001 ver.3.1</u>
	条 件	説 明 1
	C.1.2 条件1	森林施業計画書(22-3)を門川町に提出して認定を受けた、森林法第5条に定める森林である。
	C.1.3 条件2	<p>対象地については、資料2森林施業計画、資料3-1森林施業図、資料3-2航空写真により対象林分の位置を確認、森林施業計画内に収まっている。</p> <p>対象地については、資料2森林施業計画の長期の方針に基づき管理するものであり、土地転用・主伐は計画されていない。</p> <p>対象地間伐については、宮崎県営林業造成事業施工基準に基づき行う。</p>
	C.1.4 条件3	<p>施業計画の認定番号 <u>22-3</u> 門川町 (期間 H22.10.12 ~ H27.10.11)</p> <p>(プロジェクト期間に係るすべての施業計画について認定番号を記載)</p>
C.2 適用方法論	方法論番号	JRAM <u>001 ver3.1</u>
	方法論名称	森林経営活動による CO2 吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)

C.3 適用するガイドライン等	C.3.1 ガイドライン等への準拠	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">準拠の説明</th> <th style="width: 60%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 全く準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 一部準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 全て準拠する場合は、説明は不要。</p>	準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/> 全く準拠しない		<input type="checkbox"/> 一部準拠しない		<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する										
	準拠の説明	説明																	
<input type="checkbox"/> 全く準拠しない																			
<input type="checkbox"/> 一部準拠しない																			
<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する																			
C.3.2 ガイドライン等が複数ある場合の選択	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインのモニタリングパターンを選択する場合)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">モニタリングパラメータ</th> <th style="width: 35%;">モニタリングパターン</th> <th style="width: 50%;">選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">活動量</td> <td><input type="checkbox"/> 森林 GIS</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 実測</td> <td>間伐時の周囲測量を使用する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">拡大係数</td> <td><input type="checkbox"/> 実測</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等</td> <td>「京都議定書 3 条 3 及び 4 の下での LULUCF 活動の補足情報に関する報告書」を採用する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">収穫予想表</td> <td><input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料 (行政機関の資料・学術論文等)</td> <td>文献名: 宮崎県長伐期施業技術指針 該当ページ: 55 ~ 62 ページ (資料 4)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 選択理由の説明においては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。</p>	モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由	活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS		<input checked="" type="checkbox"/> 実測	間伐時の周囲測量を使用する。	拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測		<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	「京都議定書 3 条 3 及び 4 の下での LULUCF 活動の補足情報に関する報告書」を採用する。	収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)		<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料 (行政機関の資料・学術論文等)	文献名: 宮崎県長伐期施業技術指針 該当ページ: 55 ~ 62 ページ (資料 4)
モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由																	
活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 実測	間伐時の周囲測量を使用する。																	
拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	「京都議定書 3 条 3 及び 4 の下での LULUCF 活動の補足情報に関する報告書」を採用する。																	
収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料 (行政機関の資料・学術論文等)	文献名: 宮崎県長伐期施業技術指針 該当ページ: 55 ~ 62 ページ (資料 4)																	

C.4 プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)	C.4.1 ベースラインシナリオ(BLS)の特定	(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明) 森林を適切な状態に保つために必要な間伐が 2007 年度以降に実施されていない状態。	
		(ベースラインシナリオ特定に使用したデータの信頼性・入手可能性)	
		データの信頼性・入手可能性	説明
		<input type="checkbox"/> 低い	
		<input checked="" type="checkbox"/> 低くない	
(森林施業計画通りに施業を実施しない可能性に関する情報)		施業計画通りに実施しない可能性	説明
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がある	自然災害により、計画どおりに実施しない可能性がある。
		<input type="checkbox"/> 可能性がない	
(プロジェクトの対象である森林が転用される可能性に関する情報)		転用の可能性	説明
		<input type="checkbox"/> 可能性がある	
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	

C.4.2BLS に 関連した温 室効果ガス 排出源・吸収 源の特定		(温室効果ガス排出源・吸収源)						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">温室効果ガス排出源・吸収源</th> <th style="width: 40%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源</td> <td>地上部バイオマス 地下部バイオマス</td> </tr> <tr> <td>上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源	説明	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス 地下部バイオマス	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	なし
	温室効果ガス排出源・吸収源	説明						
	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス 地下部バイオマス						
	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	なし						
	<p>リーケージに関しては、以下のリストから該当するものがあればボックスにチェックを入れること。また、チェックしたリーケージは、モニタリングプランにおいて定量化すること。</p>							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">リーケージの種類</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	リーケージの種類	説明	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加		<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加		
リーケージの種類	説明							
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加								
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加								
	<p>(温室効果ガス排出源・吸収源を特定するために使用した追加的な基準)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 使用</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 使用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明	<input type="checkbox"/> 使用		<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない		
温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明							
<input type="checkbox"/> 使用								
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								

C.5 排出量・吸収量の定量化	C.5.1 不確かなデータの使用	(吸収量の定量化における不確かなデータの使用)						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>不確かなデータの使用</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>使用する</td> <td>(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>使用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	不確かなデータの使用	説明	<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
不確かなデータの使用	説明							
<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)							
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
	C.5.2 モニタリング対象とならない排出源・吸収源	(モニタリングプランを作成する上で、モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源が存在する)						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>存在する</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>存在しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明	<input type="checkbox"/> 存在する		<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない	
モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明							
<input type="checkbox"/> 存在する								
<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない								
C.6 モニタリングプロットの設定		<p>(モニタリングプロットの設定方法に関する記述)</p> <p>モニタリング方法ガイドラインに基づき、標高・地形・方位等の条件を考慮して林小班ごとに 30ha1 箇所を基本として、モニタリングプロット4箇所を設置した。</p> <p>なお、現地で設定したモニタリングプロット箇所は、GPS で経緯度を測定して杭を設置することにより、その位置がわかるようにする。</p> <p>(モニタリングプロットに対応した資料の準備)</p> <p>資料3 - 3</p>						
C.7 備考		該当無し。						

1: ポジティブリストの条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。

D:その他				
D.1 関連する許認可及び関連法令	<p>(想定される関連法令等については、別紙「オフセット・クレジット(J-VER)制度における手続きについて」の方法論ごとの記載を参照のこと)</p> <p>なお、ここに記載した法令等は、あくまでも想定される主な法令であり、他にも関連する法令等の有無について確認すること。</p>			
			該当しない	該当する
	1	森林・林業基本法		第 9 条森林所有者としての責務 その他(具体的に:)
	2	森林法		第 5 条地域森林計画 第 11 条森林施業計画 その他(具体的に:)
	3	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法(間伐等促進法)		
	4	種の保存法		
	5	鳥獣保護法		
	6	騒音規制法		
	7	景観法		
	8	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
9	環境影響評価法			
D.2 ステークホルダー (森林所有者、森林管理者、森林管理費用負担者等)のコメント	<p>当該プロジェクトにおいて対象とされる森林は、全てプロジェクト代表事業者である。外部のステークホルダーは存在しない。</p>			

D.3 その他特記事項	該当無し。
-------------	-------